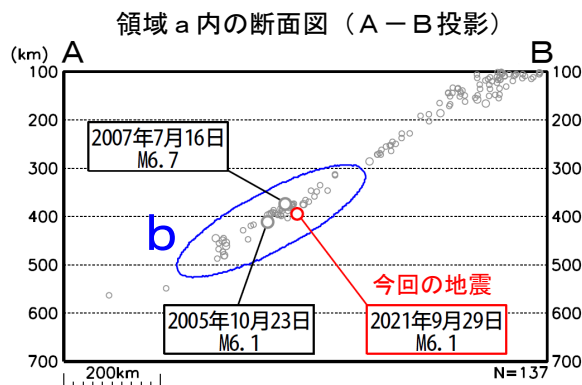
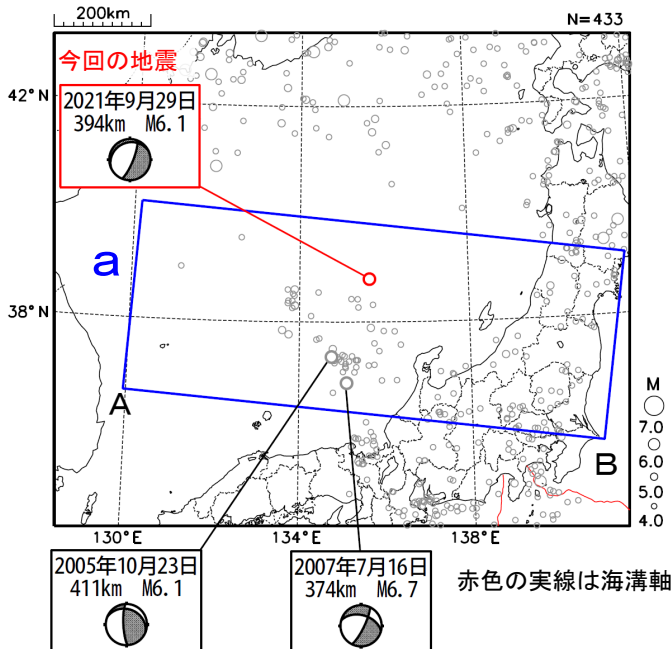
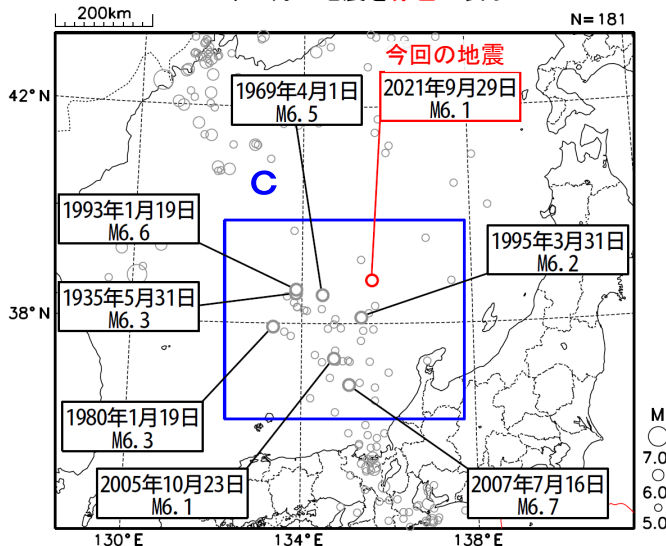


9月29日 日本海中部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2021年9月30日、
深さ100～700km、 $M \geq 4.0$)
2021年9月の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解



震央分布図
(1919年1月1日～2021年9月30日、
深さ300～700km、 $M \geq 5.0$)
2021年9月の地震を赤色で表示



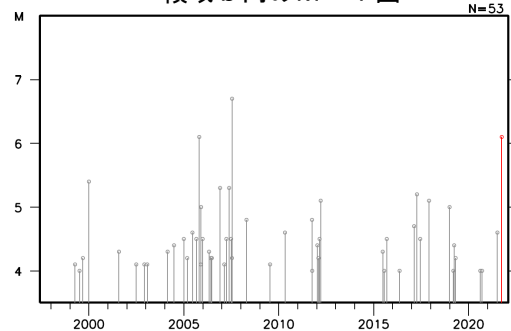
2021年9月29日17時37分に日本海中部の深さ394kmで $M 6.1$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。この地震の発震機構（CMT解）は太平洋プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

今回の地震により、北海道から関東地方にかけての太平洋側を中心に震度1以上の揺れを観測している。今回の地震のように、震央付近よりも震央から離れた地域で強い揺れを観測している現象は「異常震域」と呼ばれている（p.81～82参照）。

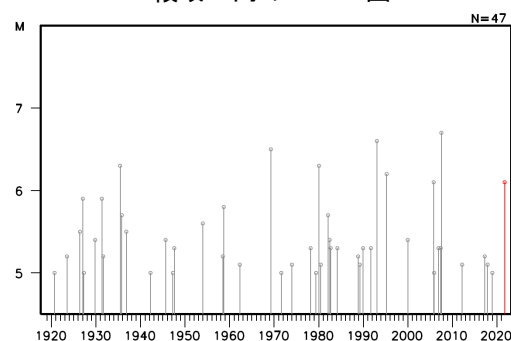
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、2005年10月23日に日本海中部で発生した地震（ $M 6.1$ 、最大震度2）、2007年7月16日に京都府沖で発生した地震（ $M 6.7$ 、最大震度4）がある。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生しており、1969年4月1日の地震（ $M 6.5$ ）では、北海道から関東地方の太平洋側、及び鹿児島県で震度3～1を観測した。

領域b内のM-T図



領域c内のM-T図



震度分布図
(左：今回、右：1969年4月1日($M 6.5$))
震度は観測点震度

